

川崎市の取組が第18回マニフェスト大賞『優秀賞』に選ばれました

本市はSDGs未来都市として、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向け様々な取組を推進しており、本年8月に『Kawasaki City SDGs Guidance～川崎市市内SDGs取組の進め方～』を策定したところですが、この取組が高く評価され、このたび、**応募総数3088件**の中から**第18回マニフェスト大賞『優秀賞』**に選ばれましたのでお知らせします。

なお、**最優秀賞(7件)**については、**優秀賞(40件)**の中から**11月10日に選定・表彰予定**です。

1 『マニフェスト大賞』とは

(1) マニフェスト大賞とは

マニフェスト大賞は、地方自治体の議会、首長、市民等による、**地域の民主主義向上に資する優れた取り組みを募集し、表彰する取組**です。

地域で努力を重ねる方々に栄誉を与え、さらなる意欲向上を期するとともに、優れた取り組みが広く知られ互いに競いあうようにまちづくりを進める「善政競争」の輪を拡げることを目的としており、このたび、本市の取組が第18回マニフェスト大賞『優秀賞』に選ばれました。

(2) 主催：マニフェスト大賞実行委員会（共催：早稲田大学マニフェスト研究所、毎日新聞社）

(3) 応募状況（第18回）

- ・ **応募総数：3,088件**
- ・ **優秀賞：40件（倍率77倍）**

※ 11月10日に『最優秀賞』を発表予定



Manifesto
Awards



2 『優秀賞』を受賞した本市の取組概要

(1) 申請タイトル

国内自治体初！『川崎×SDGs×市内マネジメント』の独自計画の策定と20以上の成果！
～SDGsを独自にローカライズ～

(2) 申請概要

川崎市はSDGsを市内マネジメントとしてフル活用する独自計画『Kawasaki City SDGs Guidance～川崎市市内SDGs取組の進め方～』を本年8月に策定、運用開始しました。

この『進め方』は、従来型のSDGs計画・方針でなく、SDGsを「コンパス、共通言語、エンジン」と定義し**市内マネジメント用にローカライズした自治体初の独自計画**であり、同時並行の市内調整により、かわさきSDGsパートナーと学校が連携した取組など、**策定と同時に20以上の成果**を上げました。



『進め方』は **こちら**

川崎市市内SDGs取組の進め方

<https://www.city.kawasaki.jp/170/page/0000153547.html>

【問合せ先】

川崎市総務企画局都市政策部 SDGs・国際連携推進担当 野本
電話：044-200-3669 メール：17sdgs@city.kawasaki.jp

